

競技注意事項

愛知県中学生新人陸上競技大会

1 競技規則について

本大会は、2023年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行われる。

2 競技場の入退場について

- (1) 時間プログラムに記載されている、競技場入場可能時刻をめぐりに来場すること。
- (2) 入退場は係の指示に従い、北側または南側の出入り口よりアスリートビブスを見せて入場する。時間プログラムに記載されている競技場入場時刻から入場できる。競技終了後はすみやかに退場すること。
- (3) 付き添い・引率者・保護者はスタンドのみ入場できる。スタンド西側階段から入退場すること。

3 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップ場として、レクリエーション広場を最終種目の招集開始時刻まで使用できる。また、競技に支障の無い範囲で、競技役員に指示にしたがい北陸上競技場を使用してもよい。時間プログラムに記載されている競技場入場時刻から入場可能となる。
- (2) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員に指示により行う。レクリエーション広場、近隣の公園、競技場周辺等では投てき練習は絶対に行わない。

4 競技者の招集について

- (1) 招集所は、200mスタート付近倉庫に設ける。
- (2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前 ※棒高跳 70分前	30分前 ※棒高跳 60分前

(3) 招集の手順について

- ① 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。(携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は持ち込めない)
 - ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。
- (4) リレーのオーダー用紙は招集所に用意する。オーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。(競技規則 TR24)

5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大きさとユニフォームの胸・背部に確実につける。跳躍種目は、胸部または背部のみで良い。
- (2) 800m以上の長さのトラック種目に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード(ビブス) 標識を貸与する。ランニングパンツ右の上部やや後方につけること。逆走の場合はすべての種目でランニングパンツ左の上部やや後方につけること。

6 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) コンディションにより直線種目を逆走で実施する場合がある。実施の有無については、関係役員で協議し、該当種目開始時刻の2時間前をめぐりにアナウンスで発表する。逆走の場合、左手から1レーンとする。
- (3) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝は、主催者が公平に抽選し、決定する。
- (4) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。
- (5) トラック種目の記録発表は1/100秒とする。

- (6) タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選(競技規則TR21)を行う。該当者は、抽選を連絡するアナウンスから10分以内に本部へ集合する。
- (7) 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走り、減速し止まること。逆走の場合は、フィニッシュ後も直線を走り、減速すること。
- (8) 本競技会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。(競技規則 TR16.7)
- (9) スタートの合図は英語とする。〔「On Your Marks」「Set」〕
- (10) リレーのユニフォームについては、ユニフォームの形状を統一する必要はない。ただし、デザイン・配色(マーク)は統一すること。

〔TR5. 1〕国内

全国的な競技会でのリレー競走においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。

- (11) リレー競技のマーカ―は主催者側が用意し、審判員が配付する。なお、各チームが用意したマーカ―を使用してもよい。ただし、マーカ―の使用は1か所とし、各チームが用意したマーカ―はそのチームで処理すること。
- (12) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内(次のラウンドが行われる競技では15分以内)に大会本部(総務員)まで申し出ること。結果のアナウンスが行われた時刻を正式発表時刻とする。(競技規則 TR8)

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

	練習	1	2	3	4	5	6	7
男子走高跳	1.40/1.60	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	以降 3cm
女子走高跳	1.25/1.45	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降 3cm
男子棒高跳	フリー	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	以降 20cm
女子棒高跳	フリー	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	以降 20cm

- (1) 練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。練習時間内であれば、競技役員の指示のもと自由に練習してよい。
- (2) 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。
- (3) 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm きざみとする。

8 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールに限り個人所有のものを使用することができる。
- (2) フィールド競技では、主催者が用意したマーカ―を2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカ―を1個使用できる。走高跳のマーカ―は各自でテープを準備すること。

9 表彰について

- (1) 各種目の第1位から第8位までに賞状を授与する。
- (2) 各種目の表彰は、競技終了後に行う。8位までの入賞者は、スタンド1F中央出入口前に集合すること。ただし、リレー種目との重なりがある場合は、代理人による表彰を認めるので、表彰係まで申し出ること。

10 商標について(商標は「競技会における広告および展示物に関する規定」による)

(1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。

①上衣 下衣 [それぞれ]ロゴは上下全く同じものでなければならない。

・製造会社名/ロゴ:一箇所 40 cm²まで(高さ5cm)

・所属団体名/ロゴ

上衣 前後 各一箇所 *長さは問わないが、高さは 前:5cm、後:4cm まで

下衣 一箇所 *長さは問わないが、高さは 5cm まで

・学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

②タオル バッグ

・製造会社名/ロゴ: 一箇所 40 cm²(高さ5cm)まで

・所属団体名/ロゴ: 長さは問わないが高さは5cm まで

・学校名/ロゴ: 大きさの規制なし

(2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

11 競技用シューズの規定について

(1) スパイクピンの長さは9mm以内。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。スパイクピンの数は11本以内とする。

(2) 使用するシューズについては、競技規則TR5.2を適用する。ただしフィールド競技用として小売りされているシューズについては競技規則TR5.2の適応を除外する。

(3) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。

競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

12 その他

(1) 記録の発表については、アナウンスと大型映像で発表する。記録速報のQRコードでも確認できる。

QRコードは、愛知陸上競技協会のHP、大会中の競技場スタンド1F中央出入口付近などに掲示する。

なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時刻とする。

(2) チームの待機場所は、レクリエーション広場周辺と北陸上競技場周辺(中央出入口付近を除く)とする。その他の場所は禁止する。特に野球場の軒下と地下駐車場は厳禁とする。

(3) 救護本部はパロマ瑞穂北陸上競技場内1F 医務室に設置する。

(4) 選手はスタンド1Fの更衣室を使用できる。更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。

(5) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。

(6) 氏名・所属等の訂正は、本部に申し出る。

(7) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。

(8) 本競技会において8位までの入賞者は、次年度の全日本中学校通信陸上競技愛知県大会に出場できる資格を得ることとする。リレーについては、学校単位の上位8チームが出場資格を得る。